



リカバリーサポート・ネットワーク代表

西村直之氏

精神科医。1965年生。1990年琉球大学医学部卒。医療法人明明会永清晴明病院アルコール病棟、国立肥前康業所（アルコール・薬物依存病棟）などの勤務を経て、1999年より医療法人卯の会あらかきクリニック院長に就任。薬物依存回復支援施設ダルクの支援など、依存症回復支援にも取り組む一方、2006年4月にリカバリーサポート・ネットワークを立ち上げ、代表を務める。龍谷大学矯正・保護研究センター研究員、厚生労働省班研究の研究員（1998年～2002年は「薬物依存」、2007年～現在は「いわゆるギャンブル依存の実態と地域ケアの促進」）

パチンコやパチスロをやめたいのに、やめられない……
そんな気持ちを抱いているながら、家族や友人に話せないでいる人が読者の中にもいるかもしれない。そのような過度の「のめり込み問題」＝依存問題の相談窓口があるのを存じだろうか？ ぱちんこ依存問題相談機関「リカバリーサポート・ネットワーク」（以下、RSN）。2006年の4月に設立され、同月19日から相談受付を開始している。設立のきっかけは

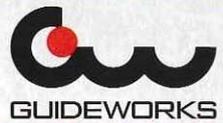
『リカバリーサポート・ネットワーク』とは？

九州の大部分にあるホール経営者にあつた代表の西村氏は言う。「多重債務や子どもの車内放置などといったのめり込み問題をとて真剣に考えられていた方で『自分たちによって人生を狂わせられてしまっている人たちが本当に困るんじゃないか？』『そうだとしたら子どもたちに胸を張れる仕事だと言えるのだろうか？』との思いで、のめり込み問題をなんとかしようと行動に出たのです」
経営する各ホールに『ワンデー

このコーナーでは「パチンコと健康」の結びつきと、その関係性を強めるために業界全体およびホール、メーカーなどが取り組んでいる活動を紹介していきます。本誌のほか、姉妹誌でも毎月展開しておりますので、よろしくお願ひ致します。今回は、パチンコ・パチスロ依存問題の相談サービスを提供している機関について。



総合編集 = 株式会社町屋ルーム



株式会社ガイドワークス提供

総合監修 = 篠原菊紀教授

10年以上に渡り、パチンコと脳、そして健康についての研究を行ってきた第一人者。東京大学大学院教育学研究科博士課程等を経て、諏訪東京理科大学共通教育センター教授（脳神経科学、応用健康科学）、学生相談室長、東京理科大学総合研究機構併任教授、「ためしてガッテン」（NHK）、「クローズアップ現代」（NHK）、「はなまるマーケット」（TBS）などのテレビ番組、ラジオ番組、雑誌、新聞など、さまざまなメディア出演、パチンコ関連の協会、組合などでの講演多数。著書に「脳は、あなたにウソをつく」（KAWADE 夢野舎）など



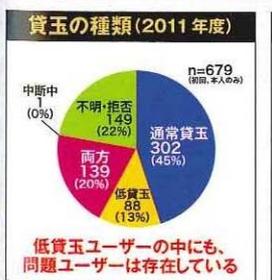
パチンコと健康を考える第一人者

ポート」というギャンブルの問題がある人の回復支援施設の電話番号を掲示したという。
「私たちが提供しているポスター（左ページに掲載）の原型に当たりますが、それを見た何人かが実際に電話をしたという話です。地方のホールですぐに反応が出たのなら、九州地区全体で、あるいは全国でやればもっとたくさんの人たちが助けを求めてくるんじゃないだろうかと考え、自分たちで相談窓口を作ろうと九遊連（九州地区パチンコホール組合の九州地区遊技業組合連合会）の若手経営者たちに声を掛け、全日遊連へ話が上がっていったのです」

パチンコホールの全国組織である全日本遊技事業協同組合連合会（全日遊連）の支援により、RSNは発足と設立に至ったのだ。
「全日遊連といえは小売店の組合ですよね？ お酒でいえば、酒販組合がアルコール依存対策の相談窓口を作るようなものです。あり得ないことですよ。それをやり始めた大分のホールさんはすごいし、取り組むことを決めて、窓口を設立した全日遊連もすごいです」

とはいえ、前身となる『パチンコ依存問題研究会』が2003年に発足してからRSN設立までに3年の年月を要し、組織内での風当たりはまだまだ強い中で相談受付がスタートした。実際にはどのような対応をしていくのか？
「悩みを抱くご本人やそのご家族を対象にした、通話料のみ負担していただく形の無料電話相談窓口です。医療機関の多くは最初に診断を行います。私たちはそれをやりません。こちら側の価値基準で相談者の行動を制限したり、決めつけたりしない。それがまず基本にあります。相談しようとする本人が電話をかけてきたなら、それだけで問題解決の第一歩を踏み出しているということ。あとは一緒に話をしていく中で、これは相談していい話なのだと気付いてもらい、問題である部分を相談員と共に自覚する。そして修正する方法を教えるのではなく、一緒に考える。それが電話相談なんですよ」

医療機関を紹介するだけの単なるオペレーターではなく、相談員が相談者と一緒に問題を考える電話相談窓口、それがRSNである。



総件数および月別相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
2006年度	110	102	82	86	119	90	87	57	38	93	54	71	989
2007年度	72	68	52	50	66	93	72	56	33	46	63	175	846
2008年度	103	114	90	113	98	94	92	83	85	95	108	112	1187
2009年度	128	128	128	124	112	120	103	79	71	70	115	127	1305
2010年度	117	133	125	93	95	120	113	87	66	68	79	89	1185
2011年度	88	93	98	60	83	94	84	96	95	135	97	105	1128
総計	618	638	575	526	573	611	551	458	388	507	516	679	6640

▲相談件数は設立以来、なぜか毎月100件弱で安定している。依存問題を抱える層が常に一定数いると考えられるべきであろう

子どもの車内放置は依存&虐待

設立から6年経ち、支援組織の認識も固まり、協力体制も整いつつあるが、まだまだ始まったばかりだと西村氏は言う。

は7月19日、「ばちんこ依存」対策に関する特別検討委員会を設置すると表明している。

「土俵はできたかな。これでもうやく、その先、つまり私たちがじゃなく、他の所も同じような活動をやりやすくなったのではないかと思いますし、業界全体が立場や理念を超えて繋がっていくことで社会のセーフティネットは広がっていく。そういう動きが出来るはじめてきたかなと思います」

また篠原氏は「健康ばちんこ」という活動の中で下にあるような「パチンコ依存診断」を掲載したチラシやポスターを配布し、依存問題を未然に防ぎ、早期発見を促す一歩、二次予防を考えている。だが、そこで防げずに問題化してしまう人もいるだろう。そこから社会復帰するための三次予防としてRSNが行う電話相談がある。これらが繋がって、大きな網となり、セーフティネットワークとなる。

左に掲載したポスターはRSNのHPから自由にダウンロードできる。このHPから自由にダウンロードできるポスター。ホール関係者は是非とも店内掲示を!!

パチンコは、適度に楽しむ遊びです。



パチンコパチスロ依存は、誰にでも起こりうる問題です。ひとりで悩まず、お電話ください。

もし、ひとつでも当てはまるなら、あなたの遊技は、もう“適度”を超えてしまっているかもしれません。

- パチンコをするためにウソをついた
- 使ってはいけないお金を、使ってしまった
- 負けを取り返そうとして、途中で止められなくなった
- やり始めると、時間や金額が分からなくなってしまう
- パチンコをするために、お金を借りた
- パチンコが原因で、大切な人とケンカになった

相談窓口

050-3541-6420

月～金(土日祝祭日除く)午前10:00～午後4:00

ホームページ

<http://rsn-sakura.jp/>

ばちんこ依存問題相談機関

特定非営利活動法人 リカバリーサポート・ネットワーク



リカバリーサポート・ネットワークは、ばちんこ依存問題からの回復を支援する非営利相談機関です。電話による無料相談を行っています。相談は匿名でお受けしています。当団体の活動は、パチンコ・パチスロ産業21世紀会の支援、会費、寄付によって支えられています。

※パチンコ・パチスロ産業21世紀会(加盟14団体)

全日本遊技事業協同組合連合会、社団法人日本遊技関連事業協会、日本遊技機工業組合、日本電動式遊技機工業協同組合、全国遊技機商業協同組合連合会、回胴式遊技機商業協同組合、遊技場自動サービス機工業会、遊技場自動補給装置工業組合、遊技場メダル自動補給装置工業会、一般社団法人日本遊技産業経営者同友会、一般社団法人余暇環境整備推進協議会、一般社団法人パチンコ・チェーンストア協会、一般社団法人電子認証システム協議会、一般社団法人アプリバインドシステム協会

▲RSNのホームページから自由にダウンロードできるポスター。ホール関係者は是非とも店内掲示を!!

パチンコを打つ前にやるよ
元気になるよ
ヨガのポーズ

英雄のポーズ I
Warrior Pose I

ヨガの代表的なポーズ。首、肩、背中、のりを解消し、精神の安定にも効果がある。両足を揃えてまっすぐに立ち、呼吸を整えたら右足を後ろに2歩くらい引く。息を吸いながら両手を天井に向かってまっすぐに伸ばし合掌。息を吐きながら左ひざを曲げ、腰を落とす。両足に均等に重心がかかるのを意識して。3回ほど呼吸したら反対側も。



▲相談員はその日あったケースを全員で共有すること。あなたの悩みを相談員が全員で一緒に考えてくれるのである

待ってもあります。車内に子どもを放置しただけで犯罪になる国もあるから、日本も法的規制をかけるべきなんです。しかしそれが無い今は周囲が見守るしかない。そのような依存や虐待の問題が起きている人ほど自分は関係ないと思ってしまうことが多いのですが、家族や友だちが私たちの窓口で電話をして相談してくれれば良い。友だちが子どもを置いてパチンコに行くのを見かねて相談することの敷居を下げることに。相談しやすい雰囲気を作ること。相談し外圧ではなく、自主的に広げていってもらいたいと思いますよね」

パチンコ 依存診断

- 自分がパチンコで遊びすぎだと思っ方はチェックしてみましょう。
- 01 今までに、パチンコで負けたとき、負け分を取り戻そうと、またパチンコをしたことがある
 - 02 今までに、自分に賭け事やパチンコの問題があると思ったことがあるか、その問題を人に指摘されたことがある
 - 03 今までに、お金の使い方について、同居していた人と口論になった原因が、主にパチンコであったことがある
 - 04 今までに、誰からお金を借りたのに、パチンコのために返せなくなったことがある
 - 05 今までに、パチンコのためか、パチンコの借金を返すために、家計からお金を借りたことがある
 - 06 今までに、パチンコのためか、パチンコの借金を返すために、サラ金・ヤミ金からお金を借りたことがある
 - 07 今までに、パチンコのためか、パチンコの借金を返すために、銀行・ローン会社からお金を借りたことがある